

広島県立農業技術大学校ホームページ改修デザイン作成業務
公募型プロポーザル選定委員会（第2次審査（プレゼン審査））議事要旨

| 項 目 | | 内 容 |
|-----|------|--|
| 1 | 日 時 | 令和5年11月30日 10時から11時50分まで |
| 2 | 場 所 | Zoom利用によるWeb会議形式 |
| 3 | 出席委員 | 農林水産局農業技術課長 総務局広報課クリエイティブディレクター 農林水産局就農支援課長 農林水産局農業経営発展課長 広島県立農業技術大学校長 |
| 4 | 議 題 | 企画提案内容の審査及び最優秀提案者の決定について |
| 5 | 担当部署 | 農林水産局農業技術課 |
| 6 | 開催方法 | 参集 |
| 7 | 議事内容 | <p>企画提案書を基にプレゼンテーションを行い、選定委員会において審査の上、最も特典が上位の提案者を最優秀提案者として選定した。</p> <p>1 提案者（選定提案者：◎） A社：株式会社e R C C B社：株式会社広島朝日広告社 E社：株式会社カンドウコーポレーション（◎）</p> <p>2 委員の主な評価・選定理由</p> <p>【A社】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大学校という場所が高校生にとって「将来の夢を実現し、未来を描けるようにしていく場所」という認識を持たれていることについては、まさにそのとおりであり、当該業務を任せたい社として高く評価した。 ・ 動画を多く取り入れることや縦型画面を用いるなど、高校生がスマートフォンで大学校に関する情報収集を行う観点を意識した内容であり、評価できる。 ・ 受注実績が少ない点が高い評価につながらなかった。 <p>【B社】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 多くの受注、類似事業の実績から、ターゲットとなる現在の高校生のマインドに対する詳細な理解に基づいた設計は評価した。 ・ 対象の高校生を意識しすぎるあまり、大学校の良さをPRする観点が欠けていたと感じた。 ・ サイトの目的を達成するための戦略の説明が不十分と感じた。 |

【E社】

- ・ ターゲットを分類した上で、ホームページに求める内容を丁寧に分析しており、実施方針については申し分ない。
- ・ 全体のレイアウト・デザイン性が大変よく、ターゲット・カスタマージャーニーを基にコンテンツも良く考えられている。
- ・ 県等の自治体の受注実績があり、行政の意を組み合わせながら円滑に打ち合わせができることが評価できる。
- ・ スマートフォンや動画を意識した部分が不足していたため、具体的な内容を構築する上で改善の余地が十分にある。